

【4-8 定性的システマティックレビュー】

<b>CQ</b>	1	BRCA1/2遺伝子変異陽性進行・再発乳癌患者の薬物療法として何が勧められるか？
<b>P</b>	BRCA1/2遺伝子変異陽性進行・再発乳癌	
<b>I</b>	PARP阻害薬	
<b>C</b>	化学療法(治療医選択)	
<b>臨床的文脈</b>		
<b>O1</b>	PFSの延長	
<b>非直接性のまとめ</b>	深刻な非直接性はないと判断した。	
<b>バイアスリスクのまとめ</b>	Open-Label studyであり選択バイアスがある。深刻と判断した。	
<b>非一貫性のまとめ</b>	I2統計量は小さく、Forest plotにおいて2つの試験の点推定値の異なりはない。信頼区間の重なりもある。以上より深刻な非一貫性はないと判断した。	
<b>不精確さのまとめ</b>	総サンプル数は733である。深刻な不精確さはないと判断した。	
<b>コメント</b>		
<b>O2</b>	OSの延長	
<b>非直接性のまとめ</b>	深刻な非直接性はないと判断した。	
<b>バイアスリスクのまとめ</b>	Open-Label studyであり選択バイアスがある。深刻と判断した。	
<b>非一貫性のまとめ</b>	I2統計量は小さく、Forest plotにおいて2つの試験の点推定値の異なりはない。信頼区間の重なりもある。以上より深刻な非一貫性はないと判断した。	
<b>不精確さのまとめ</b>	総サンプル数は733である。深刻な不精確さはないと判断した。	
<b>コメント</b>		
<b>O3</b>	治療関連有害事象の増加: Toxicity (Discontinued Treatment, Anemia Grade 3 or more, Neutropenia Grade 3 or more)	
<b>非直接性のまとめ</b>	深刻な非直接性はないと判断した。	
<b>バイアスリスクのまとめ</b>	Open-Label studyであり選択バイアスがある。治療を受けていない患者は有害事象の報告から除外されている。以上より深刻と判断した。	
<b>非一貫性のまとめ</b>	NeutropeniaとVomitingではI2統計量は大きいとDiscontinued Treatment,とAnemiaでは小さかった。4項目ともにForest plotにおいて2つの試験の点推定値の異なりはなく、信頼区間の重なりもある。以上より深刻な非一貫性はないと判断した。	
<b>不精確さのまとめ</b>	総サンプル数は708である。深刻な不精確さはないと判断した。	
<b>コメント</b>		